広域的地域活性化基盤整備計画　八ヶ岳山麓・軽井沢地域（事業区分：広域連携）

1. 地域の現状と課題

【現状】
県内でも有数の観光地である上田・佐久地域は、平成9年をピークに観光入込客数が減少傾向に有り、また地場産業でもある野菜の出荷額も伸び悩んでいる。佐久地域においては平成22年度の中部横断自動車道の佐久南IC開通予定にあわせて、観光資源の再発見及び整備を進めている。

【課題】
- 上田市街地、小諸市街地、佐久市岩村田地区等で実施しているまちづくり交付金事業エリア内最大の観光地である軽井沢との連携の強化
- 小海町、佐久穂町等のまちづくり交付金と霧ヶ峰、美ヶ原や八ヶ岳山麓の観光資源との連携の強化

【整備方針】
- 軽井沢周辺での交通の円滑化
- 八ヶ岳山麓の松原高原、蓼科高原への交通の円滑化
- 諏訪大社周辺での交通の円滑化
- 諏訪湖周囲に点在する観光拠点の連携強化
- 菅平高原への交通の円滑化

2. 計画の目標

軽井沢地区及び八ヶ岳山麓地域における交通諸問題を解決し、広域観光の活性化を目指す。

3. 事業の内容

【計画の期間】 平成19年度～平成23年度（5年間）
【事業実施主体】 長野県
【計画の成果目標】

計画の成果目標	H17（現況値）	H23（目標値）
都市農村交流人口（農業体験施設の宿泊数）	51万4千人	53万人
来場者数（諏訪市の「諏訪圏工業メッセ」の来場者）	23,100人	27,000人
歴史関連施設利用者（黒曜石体験ミュージアム和田本陣利用客）	21,000人	26,000人

【事業の主な内容】
基幹事業　：　道路事業 11箇所

提案事業　：　地域自立・活性化活動推進事業 4箇所
地域自立・活性化基盤整備事業 3箇所

【箇所数と事業費】

	県	市町村・民間	計
基幹事業	17箇所　42.13億円	－	17箇所　42.13億円
提案事業	4箇所　0.14億円	3箇所　0.09億円	7箇所　0.23億円
計	21箇所　42.27億円	3箇所　0.09億円	24箇所　42.36億円

※事業費は精算額としているため、整備計画の事業費とは合わない場合があります

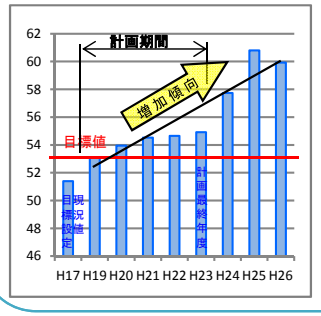
4. 事後評価の結果

【目標値の達成状況】

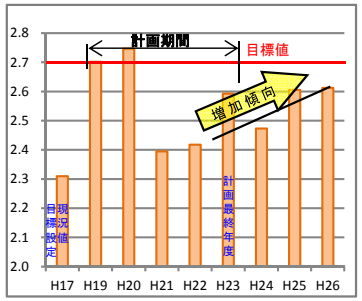
計画の成果目標	H23（目標値）	H23（実績値）
都市農村交流人口（農業体験施設の宿泊数）	53万人	54万9千人
来場者数（諏訪市の「諏訪圏工業メッセ」の来場者）	27,000人	25,900人
歴史関連施設利用者（黒曜石体験ミュージアム和田本陣利用客）	26,000人	22,000人

■事業効果の発現状況
- 一般県道松原湖高原線等の道路拡幅により農山村への円滑な通行が確保された結果、都市農村交流人口に増加が見られ、観光産業の活性化に寄与したと評価できる。
- 諏訪圏工業メッセの来場者数は、一時落ち込んだが、主要地方道岡谷茅野線などの道路拡幅により諏訪ICとのアクセス性が向上した結果、増加傾向がみられ、観光産業の活性化に寄与したと評価できる。
- 主要地方道下仁田軽井沢線の道路拡幅により渋滞軽減が図られた結果、軽井沢町の外国人宿泊者数に増加がみられ、観光産業の活性化に寄与したと評価できる。
- 道路改築6箇所が供用開始し、改良率が向上した。（5.2km、0.1%）

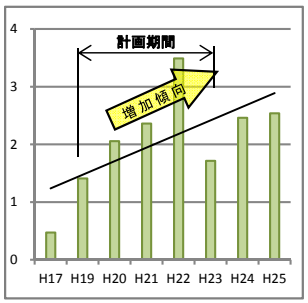
都市農村交流人口（万人）



「諏訪圏工業メッセ」の来場者数（万人）



外国人宿泊者数（軽井沢町）（万人）



5. 評価と今後の方針

- 国内景気後退の影響があり目標値を達成していない成果目標もあったが、いずれも増加傾向にあり、広域観光の活性化に貢献していると評価する。
- 次期計画の策定にあたっては、目標値の達成状況等を検証し、整備方針に反映させていく。

広域的地域活性化基盤整備計画　八ヶ岳山麓・軽井沢地域（事業区分：広域連携）

整備効果事例

事例①　道路改築事業
（主）岡谷茅野線　諏訪市　湖南

■位置図

■整備効果

整備前

道幅が狭く、歩道もない
ことから安全通行に支障

整備後

バイパスの整備により
諏訪湖周と諏訪IC間の
円滑な交通を確保

事例②　道路改築事業
（主）下仁田軽井沢線　軽井沢町　南軽井沢

■位置図

■整備効果

整備前

新軽井沢交差点～碓井軽井沢IC
上り　24分（IC方面）
下り　26分（軽井沢方面）

ICから軽井沢に向かう車両で
慢性的に渋滞が発生

整備後

上り　16分（8分短縮）
下り　19分（7分短縮）

4車線化により、軽井沢周辺の
交通の円滑化に寄与

広域的地域活性化基盤整備計画　八ヶ岳山麓・軽井沢地域（事業区分：広域連携）

整備効果事例

事例③　道路改築事業
（国）143号　上田市　築地

■位置図

■整備効果

整備前

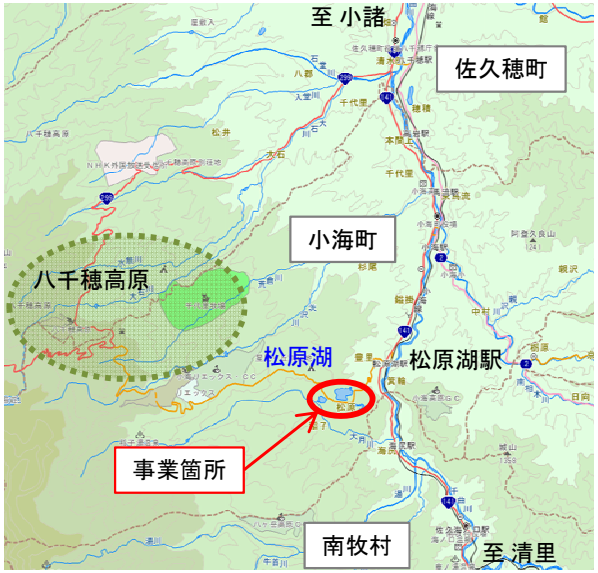
上田市街地に向かう車両で
渋滞が発生

整備後

4車線化により渋滞が
解消し、上田市街地への
円滑な通行を確保

事例④　道路改築事業
（一）松原湖高原線　小海町　松原

■位置図



■整備効果

整備前

道幅が狭く、大型車の
すれ違いが困難

整備後

道路拡幅により、観光地への
アクセスを改善